

## 2022 年度アスベスト大気濃度調査結果について



環境省では、アスベスト(石綿)による大気汚染の状況を把握するために 2005 年(平成 17 年)度より毎年度大気中のアスベスト濃度を調査しており、このたび、2022 年度の調査結果を取りまとめました。

概要は以下の通りです。

- 1)調査地点:全国 40 地点(解体等工事現場や旧石綿製品製造事業場等を対象)
- 2)測定方法:「アスベストモニタリングマニュアル(第 4.2 版)」(環境省水・大気環境局大気環境課)
- 3)調査結果
  - 地域分類別(40 地点)における調査結果
    - ・ 発生源周辺地域(調査実施 13 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.1~0.24 本/L  
3 日間の幾何学平均の最大値が総繊維数濃度 1 本/Lを超えた地点:無し
    - ・ バックグラウンド地域(調査実施 21 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.12~0.35 本/L  
3 日間の幾何学平均の最大値が総繊維数濃度 1 本/Lを超えた地点:無し
    - ・ 解体現場(施工区域周辺)(調査実施 5 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.23 本/L  
3 日間の幾何学平均の最大値が総繊維数濃度 1 本/Lを超えた地点:無し
    - ・ 破碎施設(調査実施 1 地点)…総繊維数濃度の幾何平均値:0.37 本/L  
3 日間の幾何学平均の最大値が総繊維数濃度 1 本/Lを超えた地点:1 地点

当社は、石綿分析に係るクロスチェック事業(日本作業環境測定協会)で空気においてAランクの評価を取得しております。お困り事・ご相談事等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 [2023 年 4 月 4 日付 環境省報道発表資料](#)

研究開発箇所 鈴木敏純